

あおばプラザハウスドッグラン運営に関する意見交換会

先ごろ、今後のドッグランの運営に関して意見交換会を行いました。ご出席いただいた方は過去1年間の当番協力など運営に関してよりご理解いただいている方として少なくとも毎月1回または利用回数に対し当番回数頻度が多い方にお集まりいただきました。

当日の意見をまとめましたので、以下にご案内します。

日 時 平成20年3月22日(土) 13時半～16時半

場 所 青葉公会堂1号会議室

出席者数 33名

(1) 藤田理事長からの説明(パワーポイントを使用)

- 今回の運営委員会の案内は、利用回数に対する当番回数の割合が比較的高い、又はおおむね月1回の当番を昨年中行なってもらった方を対象に郵送した。対象は71世帯であったが、出席は32名となったので、半数に出席してもらった計算となる。
- ドッグランの歩みを時系列的に説明した。その時点でも問題点は当番不足が挙げられた。その対応を様々行なってきたが、現在のところ問題は解決していない。
- 08年度の開場予定日から、当番コマ数を算出し、現在協力度合いの高い会員と比較の上、39コマ当番協力する会員が不足していることが試算された。
- 以上の点から、今後のドッグラン運営において利用規則は白紙とおもって原点に戻り、会員とともに利用規則をあらためて決めていきたい。

(2) ご意見

- 協力度合いの高い絶対数を現状71から150程度まで増やす必要がある。
- 大型犬と小型犬の相性が悪い場合にしっかり引き離すことができるよう、首輪の徹底等を行なって欲しい。
- 来場している人がその場で当番に入れる仕組みに変更することで、協力体制を強化できるのでは。当番に入りやすい仕組みとして1コマ30分にしてみると良い。
- 当番など協力できる人で集まり(グループ化し)、出来る人から運営していく。
- 当番協力に対して声がけを上げ、現在全く協力していない人でも例えば2ヶ月に1回程度当番に入ることで協力したとみなす体制にしてみてもは。
- 仕事を持っているので必ず入れる予定が立たないが、自分と自分の犬は少なくともドッグランが無くなっては困るのは確かである。
- 来られない人(協力しない人)を求めるより、今現状で来れる人(協力できる人)がやっていく体制で良いのでは。
- 月1回当番をやればそれで良いというマインドになっていた。しかし今あらためてそれでは駄目だと思う。ボランティアをサポートするのがNPOの役割と思うので、ボランティア自身が自ら運営していくことが大切と思う。当番については、月1回を月2回にしていくことで問題を解消できるのでは。

- ボランティアで自主的に当番を埋めていく一方、月1回出来ない人には別の方法（例えば石拾いや草刈など）で運営協力に関わるように促していけば良い。
- 開場と閉場が一番大変だと思う。開場中の当番は現地で遊んでいる間に遣り繰りできるのでは。コマを無理に埋めるのではなく開場閉場できなければ、閉場してしまっても構わないと思う。
- 相模原はリピーター率が高く当番がよく入っていると聞いている。月1回の義務化で相模原はうまくいって、青葉はうまくいっていないが、その違いをより深めていけば対策が分かると思う
- 問題点が共有化されてなく、なぜ当番が入らないかといった背景を良く探る必要がある。
- 平日開場することについて、平日利用している人もいる点を重要視してほしい。
- ルールを厳しく締め付けてきた結果、利用を遠慮する人が増えてきたと思われ、間口を広げる対応が必要だと思う。
- 現在自分の犬は利用していないが、当番協力をしている。休日は利用者が多いので当番が入っていると思っていたが、今後は土日にも積極的に協力していきたい。協力者を増やす意味で、現在会員になっていない近所の愛犬家に声をかけてみようと思う。また当番制や登録制がうまくPRされてなく、やってみれば大した労力ではないのだが周囲は構えてしまっていると思う。
- 私は当番をした後、直ぐに次の当番を入れる習慣にしており、その結果当番を継続できている。
- 全国的にすばらしいドッグランモデルが身近にあり、それに参加協力できることが素晴らしいと思っている。当番2人制によって気軽にキャンセルできるようにしては。
- 私は、小さい子供がおり夫に面倒を任せてドッグランを利用していたが、土日10時から14時が無くなったことで利用が遠のいてしまった。また、当番をしないで利用することも心苦しく、ドッグラン内で利用マナーが悪い方がいて自分の犬が追い回されることがあり、時間の都合をわざわざつけて利用しているのに、それでは足が遠のいてしまった。
- 相模原と比較してモラルが低い（岡井さんの意見）に反発がある。論点は、このドッグランをボランティアで運営するか、自主管理で運営するかだと思う。ボランティアは人に強制できるものでない。今までは運営委員がいたので会員はそのサポートをすれば良いと思っていた。
【相模原との違いはモラルではなく、運営に会員が積極的に関わっていることでドッグラン基本運営方針に近いということであり、あおばのモラルが低いということではありません。ただし、事務局宛の匿名の苦情として、「私有地のような振る舞いの人がいる」「ふんが落ちていることが多い」「大型犬と小型犬が仲良く遊べない」など寄せられています。】
- 月1回当番は別の活動に参加している都合でなかなか難しいが、このドッグラン環境は大変素晴らしく今後とも協力していきたい。当番は夫婦ということもありその場で対応できる。家が遠いので雨天閉場連絡をもっと早めに分かれば有難い。
- 会員を多くするプロモーションをしっかり行い分母を増やす一方、かぎの開閉する当番を決めるだけ良いのでは。当番が入っていない情報を当該日の直前にメール連絡で定期的に行なうなど対応したらどうか。
- 開場出来る人が柔軟に開場するなど、その自由さによって協力の間口を広げられるのでは。またトレーナーを呼ぶなど来場者を増やす集客マグネットの工夫があれば良い。当番が入りにくいコマは2回当番をしたなど優遇する方法もあるのでは。
- 当番をやらないといけない、草刈をしないといけないといった義務感が負担となって足が遠のく人が多いのでは。
- ボランティアで良いのか、自主運営でいくのかははっきりしてほしい。夫婦の場合は2人なのでう

まく対応できる。当番は入っていない場合は出来る人がやるなど、月1回という義務感が逆にマイナスになっていることもあるのでは。

- 当番は簡単な内容なので、どうしてできない（やらない）のか理解できない。先月と同じ話し合いで今日は何かしらの提案があると思ったので残念だ。ドッグランで使う水は自分で持参させてはどうか。
- 犬を飼っていない人にもボランティア活動として広く集めてみては。コマは30分と短くする。規則は厳しすぎるのでは。
- 月1回当番をすれば良いと思っていた。土日で当番に入れない（シフトが埋まっている為）ことで、シールを貼られ足が遠のく人がいると思う。当番ができない場合もっと長い期間で選別すべきだと思う。

まとめ

協力できる人が運営していく(できない人に求めない)

会員を増やす方法を検討

日中の時間(10:00~1400)拡大

1コマ30分(時間短縮)

来場している人がその場で当番に入るなど柔軟な対応

協力者のグループ化

開閉場の当番のみ決める

(3) 今後の対応

- 6月まで毎月1回の会議を継続します。
- 次回は、今回の意見を参考に Pals 側から新たな利用規則案を提示する。
- 次回の案内は、今回参加者は HP やららくらく連絡網、現地貼り紙などで確認する。今回不参加の方は葉書で案内する。また、参加の声がかからなかった方で興味がある、協力してきたい意思の方は積極的に次回以降参加して頂きたいし、会員の声かけをお願いしたい。

「相模原」と「あおば」の違いについて

相模原は毎月運営委員会を開催し会員の意見を統一し温度差を調整しつつ、情報を開示していること。あおばも同様に会員の運営会議を行いたい。

無料利用・会員自主運営(公設民営)はドッグラン設立時の基本理念です。この理念を変えることはできないが、その他のルールは実際に利用する会員が議論をして変更することも可。Pals は役所とのパイプ役で実際の運営は会員によります。(Pals も一会員と認識してください)ドッグランの運営は開場・閉場だけではありません。登録説明会、会員証作成、会員データ管理、ホームページ更新、評議員会などがあります。積極的に会員に関わっていただきたい。

当番制についても柔軟に考え、腕章つけたスタッフが常時2名いるなど問い合わせ、入場者の確認など。また、開場時間もフレキシブルな制度でもよい。たとえば一定の資格を与えその有資格者がドッグランを開場した場合には利用できるなど。(コアタイムは設ける必要がある)

以上

次回会議までの検討事項

- (1) 開場・閉場 のスタッフ 有資格者制度 について
資格の付与条件

- (2) 開場日時

- (3) 会員の役割分担
当番管理者（時間グループ）
ホームページ制作
会議運営
ドッグラン整備・管理

- (4) その他

次回の会議予定

日時 平成 20 年 4 月 19 日(土) 13 : 30 ~ 16 : 00

場所 青葉公会堂 第 2 会議室 (2F) 駐車場利用可

※会議室は 36 名までの利用です。出席をご希望される方は事前に御申し出をお願いします。